



第 67 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。
前回のスゴイ人、小園伊津子さんにご紹介いただいたこの方は、
「みんなのために毎日コツコツ町をきれいにするスゴイ人」との
こと。インタビュアーは又木志帆でお届けします。

【今回のスゴイ人】
黒木 ハル子さん



今回は、末吉町出身で地域の美化活動をされている黒木ハル子さんにお話を伺ってきました。

黒木さんは末吉小学校・中学校を卒業後、都城泉ヶ丘高校へ進学されます。

「卒業後は、お姉さんが東京にいたこともあって上京しました」

仕事を探していると縁があつて空調機や化学製品の大手メーカーに勤めることとなります。

「仕事は忙しかったけど、社員旅行やお友達と色々なところに出かけて、それはそれは楽しかったの」と当時を振り返りにこやかに。ところが勤め始めて4年後。父の体調が気になって末吉に帰ろうと決意しました。

帰郷後は末吉にあつた、まるみデパートで経理の担当として働き始めます。

「デパートだから年末年始やイベント時期は大忙しで、毎日あつという間に過ぎていきました。定年まで勤めて、退職金で両親がしていた食堂の隣に家を建てましたね」

周りの人に恵まれて、不自由なく過ごしてこれたと話す黒木さん。

定年後は自宅で過ごす中で、庭の掃除をするついでに末吉駅付近の美化活動をするようになります。

「少しでもきれいななればと思つて、落ち葉を掃いたり、草を取つたり、誰にでもできることをしているだけなの」

黒木さんは自分で決めたことをしっかりと守り、実行できる性格。一日のスケジュールも決まっています。朝は買い物に行き、午前10時30分から末吉駅跡周辺を掃除。お昼をはさんで午後2時からマインドロードを末吉駅跡から北へ約250メートルの間を掃除。これを約20年間、雨の日以外は毎日行っています。

末吉駅跡の横にある広場で遊ぶ子ども達や春には桜を見に来る人の笑顔をみて、少しでも誰かのためになつていたらと思うそう。

「元気なうちは続けたいし、やっぱりきれいな末吉が好きなんです。末吉の町が汚いと言われたら悔しいじゃん」

自分の住む町を大切に思い、できることを毎日続ける意思の強い黒木さんでした。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

「趣味は草取りよ」と笑って話す黒木さん。約20年間、地域の美化活動を自主的に行っている背景には「きれいな末吉が好きで少しでも誰かのためになれば」という想いがありました。
(又木)



協力隊の今日この頃

お疲れ様です。又木です。最近のうだるような暑さ、夏が本気を出してきたように感じます。水分補給しっかりされていますか？私は5月頃に仕込んでおいた梅シロップを氷水で割って毎日飲んでいます。さっぱりしていて暑いときには体中に染みわたりますね。と、前置きはさておき先月、意気揚々と新しいTOMALANDの紹介をしたばかりですが、残念ながらお知らせがあります。トマトの畑に青枯れ病が出てしまいました。雨が降るたびに水を通して広がっていくのを見ることしかできない状態で、為す術なく枯れてしまいましたが、楽しみにしてください。また方々には申し訳ないです。完敗です。夢にまでトマトが出てきそうなくらいショックを受け、土づくり、苗づくりの大切さを改めて痛感したところです。代わって嬉しかったニュースもありました。以前、子育て支援センターでトマト講座を行い、センターの方でもプランター栽培をしてもらっていました。そのトマトがなり出して、子供たちが楽しみにセンターに来てくれていると伺いました。もっともつと、子供たちにトマトを好きになって貰いたいと思います。(又木)



自作の梅シロップ



青枯れ病に感染したトマト…